

平成14年度

決算

当院の平成十四年度経営状況をお知らせします

平成14年度は、年々複雑・

多様化する診療情報を迅速に処理し、病院業務の作業効率の改善をもって患者サービスの向上を図るため、新病院情報システムを構築しました。

施設改良では、放射線室の増築や夏季における空調施設の容量不足を解消するための熱源増設工事を実施し、医療機器では、放射線室に心血管用X線連続撮影システムやデジタルX線テレビシステム2台を導入し、医療の高度化や患者サービスの向上に努めました。

一方病院経営では、診療報酬が2・7%引き下げられるなど厳しい状況の中、収益の確保と経費節減に努めた結果、収益は8億8399万円、支出は、88億7978万円となり、差し引き421万円の純利益を計上しました

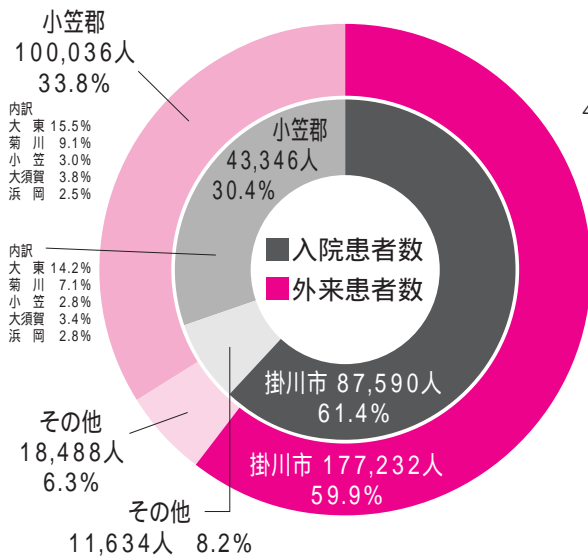
が医業収支において2億3169万円の損失となりました。本年度も、引き続き国の総医療費抑制方針のもと、病院経営の環境は極めて厳しい状況が予測されます。

今後も、より一層高度・多様化する医療需要に対応しつつ、経費節減に努め、安心、信頼、満足いただける病院経営に努めます。

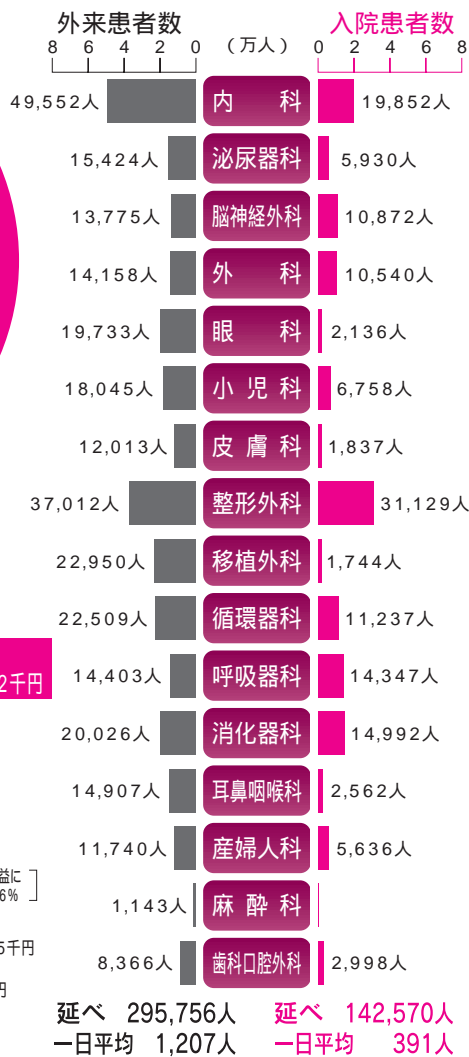


通常アンギオシステムと呼ばれる心血管用X線連続撮影システム

居住地別患者数



科別患者数



収益的収入支出

